

BUILDING MAINTENANCE NEWS

VOL.275

3月号
2012年

愛知

社団法人
愛知ビルメンテナンス協会
ABMA

発行・編集 社団法人愛知ビルメンテナンス協会広報イメージアップ委員会 / E-mail aichibm@lilac.ocn.ne.jp URL (アドレス) http://www.aichi-bma.jp
〒460-0003 名古屋市中区錦3-23-31 栄町ビル6階 TEL 052-972-1451 FAX 052-972-1452

今月の視点

パート労働者への社会保険適用拡大に 断固反対

愛知ビルメンテナンス政治連盟
理事長

吉田 治伸

現在、政府・与党ならびに厚生労働省は税と社会保障一体改革の中で、短時間労働者に対する社会保険適用拡大に向けて作業を進めようとしています。

具体的には、従来週30時間以上の労働者を対象としていたものを、対象範囲を引き下げ、週20時間以上の短時間労働者に適用しようとするものです。当面は従業員300名超の企業、年収80万円以上の約100万人を対象に適用拡大を図ろうとしています。

第一生命経済研究所の試算によれば、パート労働者を多く雇用する小売業、外食、サービス産業においては、2パーセントを超える経常利益率の引き下げになるとも予想されています。とりわけ、利益率が低く、経費の大半を人件費が占める業界においては、経常利益の半減や赤字転落は、あり得ない話ではありません。

全国ビルメンテナンス協会を中心として、パート労働者への適用拡大については、「パート労働者の働き方や雇用に重大な影響を与え、家計と企業経営に深刻な打撃を与える」として強く反対を表明してきました。今回、パート労働者を多く雇用する業界の意見やパート労働者の考え方(各種調査によれば、パート労働者の7割は反対)を十分に検討することなく、適用拡大を強行しようとしていることは、誠に遺憾であり、改めて反対を表明せざるを得ません。

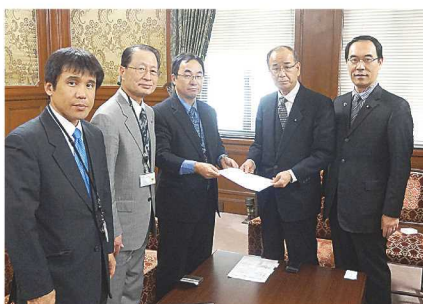
当業界はこれまで多様な就労機会を確保し地域の雇用に貢献してきました。社会保険の適用拡大が強行された場合には、(経費負担増に対応することが極めて困難となり企業防衛の観点から)解雇、雇用調整、労働時間縮減な

ど、労働者にとって不利益となる選択をせざるを得ない状況に追い込まれかねません。

パート労働者の多くは、個人や家庭の希望・事情に応じて「自分に便利な時間や期間で働くこと」を選択しております。働き方の多様性を損ない、収入減を強いられ、最悪解雇にも繋がりがかねない今回の拡大案は、企業経営者のエゴからではなく、パート労働者に対する犠牲の強要に他ならないと断言せざるを得ません。

あわせて、従業員数300名超という線引きで企業に適用することは、パート労働者にとって本人と全く関係ない部分で負担が増えるという新たな不公平・格差が生じるものでもあります。

全国ビルメンテナンス協会では、スーパーマーケットやチェーンストア業界をはじめ15団体と連携し、反対意見を表明しました。愛知協会においても、政府・与党に対し反対の陳情を行ったところです。政府・与党及び厚生労働省は今国会での法案の成立を企図していますが、まさに業界の浮沈にかかわる未曾有の事態であり、何としてもこれを阻止すべく反対の意思を燎原の火の如く拡げていくために、今こそ会員一人一人が出来る限りの行動を起こす時であると考えます。



▲民主党陳情要請対応本部 鈴木克昌衆議院議員 (愛知14区)へ陳情



▲厚生労働省藤田一枝政務官(福岡3区選出衆議院議員)へ陳情

平成23年度 労働安全衛生大会



平成24年2月3日(金)に、平成23年度労働安全衛生大会が愛知労働局の後援により名古屋国際会議場において開催されました。

当日は、78社119名の方が参加されました。勝野会長と来賓の愛知労働局労働基準部安全課安全専門官の鈴木孝典様の挨拶の後、労働安全衛生に関するポスターデザイン、私のヒヤリハット事例及び標語の優秀作品の表彰が行われました。

今年度は、ポスターデザインが15点、ヒヤリハット事例が163点、標語が176点と多数の応募がありましたが、昨年12月13日(火)に労働安全衛生委員会での厳正な審査により次の方々が栄えある受賞に輝きました。(敬称略)

ポスターデザインの部

最優秀賞

大日向マリコ
(コニックス(株))

優秀賞

森山一平
(コニックス(株))
八木瑞穂
(コニックス(株))

大須賀美緒(昭和建物管理(株))



▲ポスターデザインの部

私のヒヤリハット事例

優秀賞

堤 良和(管財(株))
福田佐知代
(ジェイアル東海総合ビルメンテナンス(株))
藤原松代
(ジェイアル東海総合ビルメンテナンス(株))

渡辺美喜男(昭和建物管理(株))

秋田誠也(大成(株))



▲私のヒヤリハット事例

標語

優秀賞

竹内 恒
(コニックス(株))
徳田政代
(コニックス(株))
山本裕子
(昭和建物管理(株))
竹之内厚子
(株)セイコー
中野文子(豊興業(株))



▲標語

引き続き、愛知労働局労働基準部安全課の安全専門官鈴木孝典様により「労働災害発生状況とリスクアセスメントによる労働災害防止」をテーマとして約1時間の講話があり、また、休憩を挟み愛知県県民生活部地域安全課課長補佐の伊藤正彦様から「愛知県の交通事故の特徴と事故防止対策について」講演をしていただきました。

いずれも、労働安全衛生大会に相応しい時宜を得た内容であり、参加された皆様にとって有意義な講演でありました。

最後に、当協会労働安全衛生委員長の堀口理事から閉会にあたって、参加されたことのお礼と自身の体験を踏まえた交通安全にかかる話とともに、23年4月から12月までの労働災害発生状況について留意事項を含め報告があり、成功裡に大会を終了しました。



第26回

愛知県建築物環境衛生管理研究集会

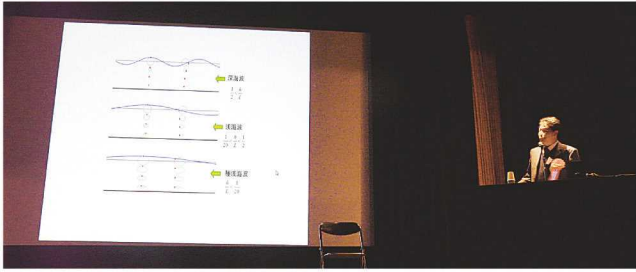


平成24年2月2日(木)、名古屋市教育センターにおいて、関係団体、行政をはじめ約1,000名の参加を得て第26回愛知県建築物環境衛生管理研究集会が盛大に開催されました。

本大会には当協会の所属会員各社から178名の参加がありました。

研究集会ははじめに主催者として今回の当番団体である当協会勝野会長及び名古屋市健康福祉局健康部渡辺環境業務課長の挨拶の後、午前中に7名の方の研究発表がありました。

昼食休憩をはさんで午後からは、特別講演として「東日本大震災の津波被害と津波に強い建築物をめざして」と題して、名古屋大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教授の水谷法美氏



から、津波の性質、今回東北地方を襲った津波の特徴及び被害状況に触れ、今後の津波への備えについて講話がありました。

その後、午後の研究発表を10名の方が行いました。このうち当協会から、座長として名古屋ビルサービス(株)の今井正治氏が、又、発表者として赤門ウレックス(株)の丹羽祐介氏が「建築物における空調設備の現状について」、日本空調サービス(株)の中島勇一氏が「医療施設におけるホルムアルデヒド対策について」それぞれ発表されました。



17名の発表者はそれぞれの研究成果を、短時間の中で要領よく披露され、会場内は沢山の拍手で包まれました。

最後に、次回の第7回を担当する名古屋ビルディング協会の坂副会長から閉会のことばがあり、成功裡に終了しました。

この研究集会は、業界団体と自治体が連携する全国的にも稀な大会であり、すでに4半世紀を越える歴史を刻んできたもので、今後ともその活動が引き継がれるよう、調査研究される会員に期待をしたいと思います。

(社)愛知県警備業協会ビルメン支部 研修会



1月17日(火)13時から、東京第一ホテル錦3階「ドルチェ」において38社から41名が参加し、ビルメン支部研修会が開催されました。

講師に愛知県警生活安全部生活安全総務課警備業係の近藤警部補をお迎えし「警備業における諸課題について」約1時間半の講義をいただきました。講義では、特に昨年大幅に増加した警備員の非行防止等について丁寧な説明があり、又、質問時間を多く割いていただくなど、時宜を得た有意義な研修会となりました。

経営セミナー(全協能力開発セミナー)

平成24年2月10日(金)11日(土)の2日間、名古屋港湾会館において、全国協会との共催による経営セミナー(全協能力開発セミナー)を開催しました。

受講者30名(修了者28名)が、2日間にわたって、ビルメン営業スキル強化研修にいただきました。講師のマネジメント21代表松本卓三先生の人をそらさない巧みな話術、ゲームも交えた総参加形式の研修は、極めて効果的で、最後のアンケートでもほとんどの受講者が高い評価をしており、この研修により受講者は確実にステップアップしたのではないかと思います。

ビルメン業界の厳しい現実の中で、受講者はこれから日々の業務において、講師が受講にあたって要望した①研修内容を知識に留めることなく身につけること(血肉化する)②活用すること③自分が変わることの3点を体現実践し、必ずや成果をあげていくのではないかと思います。

受講者にとって充実した素晴らしい2日間でありました。



理事会・各種委員会等

◆第8回理事会

開催日時 平成24年2月27日(月)13時30分～

開催場所 協会事務局会議室

出席者 勝野会長始め13名の出席を得て勝野会長が議長となり審議を行った。

主な審議事項

・平成24年度事業計画・予算について

・当面の諸問題について

・委員会報告 ・全協報告 ・中部地区本部報告

◆第9回広報・イメージアップ委員会

開催日時 平成24年2月15日(水)10時～

開催場所 協会事務局会議室

3月号の構成について検討を行った。